



TBS『ごきげんテレビ』米版がスミソニアン入り

TBS『加トちゃんケンちゃんごきげんテレビ:面白ビデオコーナー』のアメリカ版が、8日(米現地時間、日本時間9日)、米スミソニアン協会の国立アメリカ歴史博物館入りを果たした。

スミソニアン協会は、19の博物館や9つの研究センターからなる世界最大級の博物館群で、今回“AFV (America's Funniest Home Videos)”が入る国立アメリカ歴史博物館は、アメリカ史にまつわる多数の展示で有名。同博物館には、オズの魔法使いの小道具やセサミスト리트の人形等、ハリウッド映画やテレビ、プロトウェイ作品等を始めとする米エンターテインメントを網羅する「エンターテインメント・コレクション」があるが、展示されるのは歴史的な功績を残した限られた作品のみ。今回 AFV がこれに加えられるのは、名誉だけでなくアメリカ史の1ページに名を連ねた事を意味する。

TBS『加トちゃんケンちゃんごきげんテレビ』(’86.1~’92.3 放送)の「面白ビデオコーナー」をフォーマット化した AFV は、アメリカの4大地上波ネットワーク ABC(現:Disney/ABC)で’89年の初回放送以降、今年で放送開始20年目に入る記録的長寿番組で、アメリカ人ならば誰でも知っている程の知名度。80ヶ国以上に輸出されており、世界的な「ビデオ投稿番組」のきっかけを作っただけでなく、近年はYouTubeの起源と言われるなどの実績が総合的に評価されたと見られる。

8日(米現地時間、日本時間9日)には、ワシントン D.C.の国立アメリカ歴史博物館で記念式典が行われ、初期の投稿ビデオを撮影したビデオカメラや台本など、番組ゆかりの品々が博物館側に寄贈された。’07年には、同番組のプロデューサー、ヴィン・ディボナ(Vin DiBona)氏がハリウッド殿堂入りしたが、日本のテレビ番組のフォーマット版制作が評価され、関係者がハリウッド殿堂入りするのも、スミソニアン入りするのも初めての快挙。

【参考】

AFVは、TBSがアメリカ Bellon Entertainment 社と共同で『加トちゃんケンちゃん』の「面白ビデオコーナー」を’88年に海外番販(フォーマット番販)した事で実現した。TBSは他にも、『わくわく動物ランド』『しあわせ家族計画』『未来日記』のアメリカ版の地上波でのプライムタイム放送を実現している(いずれも米ABC)。「フォーマット番販」は、バラエティ番組などのコンセプトや制作ノウハウ(図面、データ、撮影技法、等)を販売する方法で、AFVは、アメリカ人スタッフとキャストによって制作、日本のオリジナル映像は一部投稿ビデオを除き一切使用されていない。AFVの投稿ビデオはTBS『さんまのスーパーからくりTV』内でも利用されている。

TBSは’60年代以降40年以上にわたり海外番販に積極的に取り組んでいる。特に「フォーマット番販」の分野では世界的にも草分け的存在。これまでに世界約100ヶ国で200種類近く、数千話の「フォーマット番販」によるTBS番組の各国版制作の実績があり記録を更新中。各国で国民的人気を博した番組も多数。また、ドラマやアニメなど全ジャンルの番組や映画も販売するなど、累計販売実績は、世界5大陸100ヶ国以上、数百タイトル、数万話に及ぶ。



“America's Funniest Home Videos” 番組ロゴ